

(様式2)

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所	西脇市立重春小学校	研究グループ名	33
属・職・氏名	教諭 竹本 晋也	学び舎 紬	

研究テーマ分類番号 (19)

(1) 研究テーマ

学ぶことが楽しいと実感する授業づくり
～教師自身が学ぶことを楽しんで～

(2) 研究経過及び具体的な取組

6月12日(木) 第1回学習会(於：西脇市立重春小学校)

- ・参加者：4名
- ・内容：今の各自の授業や学級経営における問題意識を出し合い、その問題意識に基づいて研究の年間計画を作成する。

7月10日(木) 第2回学習会(於：西脇市立芳田小学校)

- ・参加者：7名
- ・内容：国語科の研究授業について、事例に基づき3つの視点で話し合った。3つとは、目標がしばられていて明確かどうかという視点、目標と一致した活動が展開されたかという視点、学びの実感が生まれたかという視点である。その話し合いをとおして、その学年で、その教材で何を学ばせることが必要なのかもっと明確にする必要があるのではないか、そしてそのことによって他単元や他学年での効果的な繰り返し指導が可能になるのではないかという考えが出された。

8月7日(木) 第3学習会(於：西脇市立重春小学校)

- ・参加者：8名
- ・内容：各自の1学期の学級づくりや仲間づくりに対する取組を紹介し合い、共通点や相違点を見出していった。そして、それらの共通点や相違点の背景にある教育に対する各自の価値観が徐々に表れきた。ただ単に効果があったといわれる手立てを真似するのではなく、その背景にある考え方について学び合い、そこから具体化していくことの大事さを確認した。

11月13日(木) 第4回学習会(於：西脇市立重春小学校)

- ・参加者：6名
- ・内容：「算数科を学ぶ楽しさとは何か。」というテーマから話し合いを始めた。算数を学ぶ楽しさとは、計算ができることなのか、自分で問題を考えることなのかなど様々な意見が出された。その中で、論理的に考える過程のおもしろさを大事にした授業を目指すことが必要ではないかという意見がでてきた。算数科の学習内容ができる・わかることを保障しつつ、「考える楽しさ」を実感させる授業を求めていきたいという思いを共有した。